



ファンドマネージャー 秋野 充成の AKINO REPORT

代表取締役社長 秋野充成



いちよしアセットマネジメント

FM 今月のポイント (2025 年 9 月)

＊8月の国内株式市場は堅調に推移しました。日経平均株価は8月18日に43714.31円まで上昇、史上最高値を更新しました。その後、調整的な動きとなっていますが、底堅い展開です。現局面の日本株上昇は外国人投資家の資金流入によるものと思われます。外国人投資家は7月1週から8月4週まで、現物と先物を合計して、約7兆5千億円日本株を買い越しています。グローバルにおける景気回復期待が外国人投資家の日本株物色意欲を刺激しているものと思われます。グローバルにおける景気回復期待はゴールドロックシナリオ（米国経済の底堅さ＋FRBによる断続的な利下げ期待）が背景となっています。トランプ政権による「一つの大きく美しい法案（OBBA）」により、今後10年間で6兆7000億ドル規模の大型減税が景気拡大に貢献することになります。そして年間、5000億ドル規模の関税収入が減税の財源を担保します。また、日本独自の要因として石破後継政権によるリフレ政策期待があります。8月8日の自民党両院議員総会で総裁選前倒し論が主流を占めたことから、俄かに高まりを見せています。誰が新総裁になろうと、自民党が少数与党であることは変わらず、野党の政策を取り入れることとなります。その場合、参院選結果や世論調査を踏まえれば、インフレ対策として財政拡張を支持する声が多く、高い名目経済成長率を持続させる金融・財政政策（リフレ政策）が採られる可能性が高まります。財政拡大による長期金利の上昇はリスクとなりますが、日銀が年内の利上げを見送れば（政府が景気対策を進める中で、利上げすることは難しい）、株高先行が見込まれます。ただし、8月末以降、世論調査で石破内閣の支持率が上昇していることから、石破首相続投（総裁選見送り）の可能性が高まり、日本株上昇モメンタムの減退につながりました（リフレ政権誕生期待はあくまで投機材料。総裁選見送りや反リフレ政権誕生は株弱気材料ではなく、中期的株高要因）。

＊ゴールドロックシナリオの確度を占う上で注目された8月の米雇用統計が発表されました。非農業部門雇用者数が前月から2.2万人増（前月7.9万人増、市場予想7.5万人増）と増加ペースが鈍化し、市場予想を下回りました。6月が下方修正され前月から1.3万人減となり20年12月以来の減少を記録しました。失業率も4.3%に上昇しました（21年10月以来の水準）。雇用統計を受けて市場の政策金利観は一段と低下、FedWatchによると、9月FOMCでの25bp利下げの確率は9月5日に89.8%（前日96.4%）低下する一方で50bp利下げの確率は10.2%（前日0%）に上昇しました。市場では50bp利下げの確率が明確に意識され始めました（25年の利下げ幅が100bpとなる確率が6.9%（前日0%）、75bpとなる確率は64.1%（前日45.8%）に上昇）。米国株式市場はNYダウ、S&P500指数、ナスダック総合の3指数そろっての下落となりましたが、下げ幅は軽微です。また、景気敏感指数であるラッセル2000指数は0.48%の上昇となりました⇒景況感楽観論の大幅修正には至っていません。米国景気実態と雇用環境との乖離もささやかれており、ゴールドロックシナリオをベースとした相場展開は暫く続きそうです（雇用環境の悪化により断続的な利下げとなるものの、米国景気実態は好調を保つ）。次のポイント11日に発表される8月米CPI、そして16日～17日のFOMCです。一連のイベント通過で、ゴールドロックシナリオの確度が高まれば、過度な押し目を形成せずに、年末高へ突き進む可能性が高まります。

裏面をご覧ください。

『 重要な注意事項 』

- この資料は、市場の現状の説明資料の一部としていちよしアセットマネジメントが作成し、いちよし証券がいちよしアセットマネジメントとの営業代理契約に基づいて提供するものです。未許可での使用、複製の作成や発表は法律で禁じられております。
- この資料は、いちよしアセットマネジメントが信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて同社により作成されたものですが、過去から将来にわたってその正確性、完全性を保証するものではありません。
- この資料は、投資の参考となる情報の提供を目的としたものであり、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。
- この資料に掲載されたデータ・グラフ等は過去の実績またはシミュレーションであり、将来の成果を示唆、あるいは保証するものではありません。また、記載された見解等の内容はすべて作成時点でのいちよしアセットマネジメントの判断であり、今後予告なく変更されることがあります。
- 投資一任業務による有価証券投資は、株価の変動により、または発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、損失が生じるおそれがあります。投資運用によって発生する損益はすべてお客様に帰属します。したがって、預貯金とは異なり投資元本が保証されているものではなく、一定の運用成果を保証するものでもありません。

○諸経費および投資リスクについて

- 投資顧問料については、契約資産に対して年金料率で最大0.4536%(税込み)の報酬をいただくこととなります。また、契約により所定の成功報酬をいただく場合があります。その他売買手数料等の間接的な経費がかかりますが、経費の総額については委託した証券会社により手数料率等が異なるため、上限額等を表示することができません。
- お客様のために行う取引については、株式、新株予約権付社債、公社債等の有価証券に投資しますので、国内外の経済・政治情勢、金利変動、発行体の業績や財務状況等の変化の影響により、投資した有価証券の価格が下落し、損失が生じるおそれ(外国証券は、為替相場の変動等により損失が生じるおそれ)があります。
- 信用取引やデリバティブ取引を行う場合は、差し入れた証拠金等の金額以上の取引を行う可能性があるため、原資産となる有価証券や指数等の価格変動により、差し入れた証拠金等を上回る損失が生じるおそれがあります。また、デリバティブ取引等の額の証拠金等の額に対する比率は投資方針や市場の動向等により変化するため、その比率を事前に示すことができません。
- 諸経費およびリスクについての詳細は、契約締結前交付書面をよくご覧ください。

商 号 等： いちよしアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第426号
加入協会： 一般社団法人 投資信託協会
一般社団法人 日本投資顧問業協会